



第 50 号
令和5年3月1日発行
和歌山県立
新宮高等学校
同 窓 会
新宮市神倉三丁目2番39号

令和四年度

同窓会総会・講演会

三年ぶり開催される

東京大学大学院農学生命科学研究科准教授

瀧本 岳氏(四十四回卒)が記念講演

「つながりの生態学…生物多様性保全のためにできること」

十一月六日(日)新宮高校会議室において令和四年度の総会・講演会を開催、対面での開催は三年ぶりとなり、約四十人が出席しました。総会は十三時三十分、西哉素史同窓会長の挨拶から始まり、西会長は「コロナ禍で同窓会の活動にも制限があるなか、総会を対面で開催できたことへの感謝と総会の円滑な進行へ協力を呼びかけました。東啓史校長は在校生の状況を報告し、今後も新宮高校で学ぶ生徒達への力添えをお願いしました。その後、令和三年十一月七日〜令和四年十一月六日まで



の事業報告と、令和三年年度の会計報告を行いました。講演は十四時十分からは新宮高校第四十四回卒で現在は東京大学大学院農学生命科学研究科准教授の瀧本岳氏に「つながりの生態学…生物多様性保全のためにできること」と題してご講演をしていただきました。



世界でアメリカに次いで二番目に大きいという、生物多様性を保全するためにできること、「一つはそういうことを気にすること」としました。消費者、生産者、有権者として、「自分一人が

生きているだけでいろんなこととつながっている。そこからどういことができるのかを考えるのが大事だと思います」と話し講演を終えました。



同窓会総会の様子



同窓会会長 西 哉素史

ご挨拶

同窓会会員の皆様におかれましては、御健勝の事とお慶び申し上げます。また平素より同窓会活動に格別の御支援を賜り心より感謝申し上げます。

本校同窓会は、同窓生の親睦を深めるとともに学校行事に積極的に参加し母校の発展を応援させて頂いております。ここ数年は、新型コロナウイルス

ウィルスの影響で学校行事への参加も盛ならない状況が続いております。関西新宮三校合同同窓会、関東新宮高の総会も中止、五十歳・六十歳の同窓会は時期をずらして開催の予定であるとお聞きしております。

同窓会として学校行事には参加出来ませんでした。体育祭大縄跳び優勝クラスに食券を贈呈、定時制球技

大会には、同窓会賞としてクーパー賞を贈呈させていただきます。

ナ禍で活動が制限される中、一昨年の百二十周年式典と同じ十一月六日に本校会議室において対面で総会を開催させて頂く事が出来ました。

総会後には、四十四回卒瀧本岳先生に「つながりの生態学…生物多様性保全のためにできること」を御講演して頂きました。翌日、先輩が先生で在校生向けにもお話しいただきました。

総会後の懇親会までは行えませんでした。復活に向けて一歩、進めた気がいたしました。

また学校関連では、新宮高校と新翔高校の統合の話も進んでおります。生徒数の減少は避けて通れない問題です。

同窓会についても今後どの様な位置付けになるかは、これからですが同窓会員の皆様のお知恵を頂きながら頑張りたいと思います。また今後とも同窓会活動への御理解御協力をお願い申し上げます。

新宮高等学校の事業での取り組み

① 最先端の幅広い知識に触れたり、ホンモノを体験したりする機会を増やします。

② 課題解決の知識や技能を磨きます。

③ ①②を踏まえ、自らの考えや提案を積極的に外部に発信したり、発表したりすることを推奨し、学びが実社会とつながる経験を実感にします。

④ 分野や教科の枠を超えた学びを実現します。

①④を軸に、カリキュラムや授業の改革を行います。

新宮高等学校のカリキュラムのバージョンアップと授業改革

令和四年度から、和歌山県立新宮高等学校が文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」の指定校に採択されています。

「学際」とは、教科横断・分野横断・文理融合の学びを意味します。現在の社会は変化が激しく、予測不能で多様な課題が生じています。課題を解決していくためには、多くの情報を活用しながら、それらを統合し、課題の解決に結びつけていく力が求められています。課題を自ら見つけて創造的な思考を行い、他者と協働して解決策の提案ができる人が必要とされる中で、大学入試も変化しています。教科・科目の知識だけではなく、幅広い知見、資料を調べる力、問題解決につながる実学的な能力、学びを社会に生かせる力を測るような出題が増えていきます。そのため、しっかりと教科学習に加え、ひとつの問題をその教科だけでなく、他の教科の知識や技能を駆使して解いていく学びや経験をすることも必須となってきました。今まさに「学際的な学び」が求められて

新宮高等学校が時代に対応した魅力ある学びを推進中

文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」の「学際領域」に係る調査研究の指定校に

令和四年度から、和歌山県立新宮高等学校が文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」の指定校に採択されています。

「学際」とは、教科横断・分野横断・文理融合の学びを意味します。現在の社会は変化が激しく、予測不能で多様な課題が生じています。課題を解決していくためには、多くの情報を活用しながら、それらを統合し、課題の解決に結びつけていく力が求められています。課題を自ら見つけて創造的な思考を行い、他者と協働して解決策の提案ができる人が必要とされる中で、大学入試も変化しています。教科・科目の知識だけではなく、幅広い知見、資料を調べる力、問題解決につながる実学的な能力、学びを社会に生かせる力を測るような出題が増えていきます。そのため、しっかりと教科学習に加え、ひとつの問題をその教科だけでなく、他の教科の知識や技能を駆使して解いていく学びや経験をすることも必須となってきました。今まさに「学際的な学び」が求められて



変革期への備え

校長 東 啓 史



同窓会の皆様におかれましては、平素から本校並びに在校生のために何かと心強いご支援とご協力をいただき、感謝に堪えません。

新宮高校は、これまで百二十年余りの歴史の中で、実業界をはじめ学術、芸術、文学、スポーツなど、幅広い分野で活躍する人材を数多く輩出してまいりました。ここ数年、県内でも百周年を迎える高校が何校もありましたが、これほど多彩な人材を輩出している高校はそうはありません。同窓生の皆さんに、心から敬意を表します。

さて、今年度は同窓会総会が参集型で開催され、その際、本校卒業生の東京大

瀧本准教授が生徒へ講演

講演会「先輩が先生」を実施

― 演題「感染症と生物多様性 ―

― 人と自然の共存に数学を役立てる ―



44回卒の瀧本東大大学院准教授

十一月七日(月)二限目に、同窓会主催の「先輩が先生」講演会を実施し、第四十四回本校卒業生で東京大学大学院農学生命科学研究科准教授の瀧本岳さんによる講演「感染症と生物多様性」人と自然の共存に数学を役立てる」に全校生徒が会場(体育館 一・二年生)や

オンライン(三年生)で耳を傾けました。瀧本さんは平成四年に新宮高校を卒業後、京都大学理学部に進学し、平成十一年に京都大学理学部の修士課程、平成十四年に同博士課程を修了し、平成二十七年から東京大学大学院農学生命科学研究科で准教授を務めています。現在は生物多様性の創出や維持を主軸に、複雑な生物群集のダイナミクスを解明する研究をされています。

講演では、過去の世界での感染症の例を挙げ、感染症が流行するための条件「患者



講演する瀧本准教授

一人が回復するまでに平均して何人に感染させるか」

という指標を数式で表せることを説明し、感染症と数

ろうに、故郷新宮や母校のことをそこまで思ってくれているという素晴らしい純粋な思いに感銘を受け、清々しい思いを抱きました。このような優秀な人材の熱い思いに支えられて本校の今日はあるのだと意を強くした次第です。同窓生の皆様におかれましては、日本国内、あるいは世界のどこからでも本校に思いを寄せていただければ幸いです。

次に、現在の新宮高校を取り巻く状況や教育課題について報告させていただきます。今年度の新宮高校は、一学年五学級の全十五学級で、生徒数五百六十三名です。しかし、全体的に児童生徒数は減少しており、ほとんどの高校は規模が小さくなりつつありますが、中でも新宮東牟婁地域の生徒数の減少は急激に進んでいます。

また、学校の魅力化を図るといっても、内容は多岐に亘ります。本校は新しい時代の学びをこの地域の生徒に提供することの狙いから、今年度から文部科学省指定事業「普通科改革支援事業」に選定され、取り組みを進めております。SOCIETY 5.0、SDGsなど新しい概念が次々と生まれ、更には三年にも及ぶコロナ禍、大国が突如隣国に侵攻すること

などからもわかるように、将来を予測することは不可能な時代であるとさえされています。そのような時代を生きる生徒にとって必要な力とは、正解のない課題を見極め、仲間と協働しながらより良い解決策を探る能力であり、そのためには文系理系の枠にとらわれず学習するという文理融合型・分野横断型の学際系の学びが必要だとされています。

本校は、時代のニーズに適合した、新しい学際的な学びを生徒に提供し、新時代を生き抜く力を養ってほしいと考えています。そして今後とも、この熊野地方の後期中等教育の担い手であり続け、生徒にとつてより良い未来をつかみ取るサポートをしたいと考えて鋭意取り組みを進めてまいります。

結びに、全国の同窓会の皆様のますますのご健勝を祈念すると共に、本校で学び、社会に出て行く後輩たちに対して変わらぬお力添えをお願いしてご挨拶とさせていただきます。

同窓会役員

(名前の後の数字は卒業回)

会 長/西 哉素史(37)					
副会長/國見 一郎(29)		安達 実(30)		宮本 薫(35)	
糸川 友子(36)		書記/泉 晶子(39)		会 計/堺 喜代子(18)	
会計監査/小倉 正人(34)		石原 貞代(35)		常任幹事/	
和田 安司(1)		上野 佐江(20)		河辺弘三子(29)	
大前 美和(40)		上野 藍(50)		中川 治平(2)	
福田 行男(20)		尾崎 優子(30)		東 眞民(40)	
畠 照子(51)		濱崎 卓也(3)		嶋田 二郎(21)	
長谷 徳蔵(30)		飯屋 亘(41)		中山 恵(52)	
大洞 英雄(10)		西川 正修(22)		中谷 由佳(30)	
中川 敏宏(41)		長尾 美緒(52)		大川 昌生(11)	
橋本 順子(22)		西 いづる(31)		瀧岡 奈佳(42)	
大谷 朋也(53)		西田 晴胤(11)		川嶋みどり(23)	
畑中 薫(31)		日比野栄吉(42)		渡瀬 裕子(53)	
木戸地 伸(12)		南 紀子(24)		南 卓志(32)	
中岸 由加(43)		下向 隼人(54)		森倉 久喜(14)	
大和田文雄(25)		切畑屋 伊和男(33)		川上 雅道(43)	
今西 裕也(54)		隅地 洋(15)		峯 恭代(25)	
山縣 弘明(33)		大江 勝治(44)		野尻 和利(55)	
荒尾 寔(15)		亀田 廣子(26)		岡 知行(34)	
倉本 啓二(45)		輪玉 友見(55)		矢熊 敏男(16)	
須崎 恵美(26)		田岡 良成(34)		山口 哲(45)	
山中 克真(56)		瀧野 秀二(17)		関 康之(27)	
野本 渉(36)		木戸地 潤(46)		山門 久美(56)	
脊古 典明(18)		山本 哲子(27)		清原 直樹(37)	
清水 良治(47)		和田 正希(57)		谷川 安子(18)	
奥村 建二(28)		尾崎 透(38)		右京 友嘉(47)	
大江 和貴(59)		小淵 伸二(19)		汐崎まこと(28)	
南 守(38)		坂野 雄紀(49)		松村 和哉(60)	
彦前 広男(19)		野尻 政典(29)		温井 法子(39)	
野田 晋也(50)		松本 大地(60)		顧問/星谷 千學(新中40-1)	
山口 博正(新中40-2)		遊木 紀子(新高女32)		飯屋 智雄(5)	
吉良 善和(5)		夏山 晃一(22)		(敬称略)	

(敬称略)



花束贈呈

瀧本さんの講演は、生徒達にとって一見関係なさそうに見えることでもつながっている世界に気づきつつか



先輩の話に耳を傾ける生徒

講演後、生徒を代表して生徒会長で二年生の磯崎咲

けになりました。良さんが瀧本先生に花束を渡しました。

佐藤春夫生誕130周年

パネル展・講義



佐藤春夫(明治43年新中卒)

春夫の生い立ちに即して、スライド写真を活用、初恋

れました。

の人の面影や、代表作「秋刀魚の歌」の背景なども説明していただきました。春夫がスランプに陥った時、新宮中学の同級生東照市が台湾に誘い、春夫は「女誠扇綺譚」などの作品を書いて復活するのです。

定時制課程では、特別展示の会場であっただけに、ひとつひとつパネルで確認でき、より関心を高めることが出来たようです。

新中会の企画で、十一月一日(火)～十一月十四日(月)に佐藤春夫生誕130周年パネル展が神倉ホールで開催されました。

また、十一月九日(水)三限二年四組・四限二年三組で、さらに展示会場である定時制課程でも、佐藤春夫記念館館長の辻本雄一先生による佐藤春夫生誕130周年にちなんだ講義が行われ



佐藤春夫パネル展

「秋刀魚の歌」に曲を付けて、サンバ調にアレンジしたもののなどもCDで聴きました。歌っているのは、東照市のお孫さんの歌手です。本校卒業生である文豪佐藤春夫氏を身近に感じられる機会となりました。文庫本にもな



2年生の授業風景

っている「女誠扇綺譚」や「わんぱく時代」も、ぜひ読んでみてください。

【追記】

一般社団法人新中会(夏山晃一会長)は、佐藤春夫記念会に寄付をし、生誕130周年パネル展開催に支援、協力をしました。



全日制だより

★令和四年度スタート

(4/7新入式・始業式、4/8入学式、4/11対面式)

四月七日に新入式・始業式を実施した。翌日には第七十三回入学式が挙行され、二百名の新生が入学した。全員マスク着用、ドアや窓は開放状態など感染症対策を十分行った上での入学式となった。さらに、翌週の四月十一日に対面式を行った。

★クラブ紹介(4/12)

新入生に対して、体育・文化の各クラブの上級生が活動内容の紹介を行った。

★身体測定・スポーツテスト(4/14)

全学年で身体測定とスポーツテストを実施した。

★遠足(4/28)

昨年度に続き遠足を全学年で実施。バーベキューは行わず、各自が弁当を持参しての遠足となった。

★前期生徒役員選挙(5/20)

会長 三年一組 玉置 七彩
副会長 三年一組 岸 諒祐
三年一組 中原美桜奈
三年二組 磯崎 咲良
二年五組 田中 千遥
二年五組 井畑聡一朗
二年五組 問芝璃音楽

★総体壮行会(5/20)

総体での活躍を祈念して壮行会を行った。感染症対策としてオンライン中継も併用した。

★東京医療保健大学和歌山看護学部との教育連携協定締結式(5/25)

看護分野を中心に医療従事者の育成を図ること等を

目的としており、有機的な連携を行っていく予定である。

★防災避難訓練(5/25)

教室でシェイクアウト訓練の後、全学年ともに経路を確認しながら屋上へ避難した。登下校中の避難場所の確認も行った。

★高校総体(5/6月)

多くのクラブが出場し、レスリング部・弓道部が全インターハイへの出場を決め、卓球部・陸上競技部・レスリング部・弓道部が近畿インターハイの出場権を獲得した。

★進学講演会(7/1)

本校会議室で河合塾進学アドバイザーの佐藤暁宣氏が「最新の入試動向と保護者の心構え」について講演。約三十名の保護者の方々が参加。

★硬式野球部・吹奏楽部・全国大会出場選手の壮行会(7/7)

各大会での活躍を祈念して壮行会を行った。感染症対策としてオンライン中継も併用した。

★国連セミナー(7/8)

一・二年生を対象に元国連世界食糧計画(WFP)のアジア地域局長である忍足謙明氏による「世界とつながる国連セミナー」を実施。テーマは「国連から見る一世界の不公平」。放課後には、全学年の希望者を対象に第二部を行った。

★和歌山県立医科大学薬学部説明会(7/8)

全学年希望者を対象に、和歌山県立医科大学薬学部の平田収正副学部長による校内説明会を実施した。

★令和四年度第一回高校生のための和歌山未来塾(7/10)

ホテル&リゾーツ和歌山串本にて、東京大学名誉教授、帝京大学元客員教授の久保田弘敏氏による「ロケットと人工衛星のなぜ」

を考えてみよう」宇宙システム工学のすすめ」と題した和歌山未来塾が開かれた。本校から約六十名の生徒が参加。

★SDGs学習会(7/15)

一年生が、カードを使用した社会シミュレーションゲーム「SDGs de 地方創生」を用いて持続可能なまちづくりについて考えた。公認ファシリテーターが講師として参加した。

★一学期終業式(7/20)

校内放送による一学期終業式を実施した。

★アジア・オセアニア高校生フオーラム(7/25/27)

日本を含めた十八の国・地域の高校生が集い、昨年に引き続きオンラインで行われた。本校からは六名が参加し発表を行った。

★新宮市アウトリーチ授業(7/30)

新宮高校出身の写真家・鈴木理策氏による本校美術部の生徒を対象としたアウトリーチ授業が開催された。テーマは「熊野の魅力」。

★中学生対象オープンスクール(8/3)

二十一年の中学校から約二百八十名が参加。感染症対策のため二グループに分けて実施した。広報委員会の生徒たちが作成した動画による学校紹介や授業体験、クラブ体験や見学等盛りだくさんの内容であった。

★「マリッチャレンジ」プログラム関西大会(8/5)

大阪市内で開催され、三年生の寺地航琉さんが「津波減波に最適な防波堤形状と設置方法に関する研究」で優秀賞を受賞した。全国大会への出場も決定。

★大学見学会(三重大学)(8/7)

全学年より六名が参加し、模擬授業への参加や、図書館見学等を行った。

★SDGs&地方創生 あわじ・とくしま体験学習(8/21/22)

一・二年生合わせて二十八名の生徒が参加。「淡路島タネノチカラ」と徳島県名西郡神山町を研修場所とし、地域創生等、ふるさとの未来を考える機会とした。

★二期始業式(8/24)

校内放送による二期始業式を実施した。

★和歌山大学説明会(8/30)

全学年希望者を対象に、和歌山大学入試課アドミッシヨンオフィスの笠松勝美氏とシステム工学部准教授の松田憲幸氏による校内説明会を実施した。二十九名の生徒が参加。

★一学年キャリアセミナー(8/31)

一年生が、自身の進路希望や興味関心に応じて十八の分野に分かれ、それぞれ講義や説明を受けた。

★彩雲祭(9/22)

感染症拡大防止対策で、一日開催、生徒のみでの実施となったが、二年ぶりの彩雲祭(文化祭)単独開催となった。今年度の行事テーマは、「今できることを全力で!」協力が成功と楽しさの源「SDGs」とともに「オーブンニングセレモニーやクラブ・クラスの発表等、大変充実した内容であった。

★体育祭(9/29)

全校生徒が、縦割りの五ブロックに分かれて、多彩な競技で熱戦を繰り広げた。久しぶりに保護者の方々にも観覧していただいた。

★後期生徒役員選挙(10/13)

会長 二年三組 磯崎 咲良
副会長 二年三組 川本 晴春
書記 二年四組 磯崎 美来
二年四組 磯崎 里佳
二年四組 池畑 和
二年五組 久保 絆
二年五組 問芝璃音楽

★後期生徒役員選挙(10/13)

会長 二年三組 磯崎 咲良
副会長 二年三組 川本 晴春
書記 二年四組 磯崎 美来
二年四組 磯崎 里佳
二年四組 池畑 和
二年五組 久保 絆
二年五組 問芝璃音楽

★後期生徒役員選挙(10/13)

会長 二年三組 磯崎 咲良
副会長 二年三組 川本 晴春
書記 二年四組 磯崎 美来
二年四組 磯崎 里佳
二年四組 池畑 和
二年五組 久保 絆
二年五組 問芝璃音楽

(四面へ続く)

令和四年春進路状況

一般社団法人 新中会

山神祭(新中山神社)を斎行

一般社団法人新中会(会長 夏山晃二)は、令和四年十一月十二日午前十時より、南檜杖の新中山神社において「山神祭」を営んだ。

山神祭は、斎主を南檜杖須佐神社の新家守司宮司にお願いし、山の恵みに感謝し、木々の成長、防災祈願が行われた。

当日は、好天に恵まれ、夏山晃二会長、西川正修副会長、西哉素史同窓会会長、東啓史校長ら十九名が参列



新中山神社の祠

※卒業生は、同窓会会員です。

同窓会よりメッセージ

関東新高会

皆様とお会いして楽しいひとときを過ごしたいと思ひ、今年度(令和四年十一月二十日)も関東新高会(旧関東新中会)を開催する予定で準備を進めて参りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が未だに終息していない状況を考慮すると、今年度も中止せざるを得ないとの判断に至りました。

令和五年十一月十九日(日) 十二時〜十六時三十分 受付 十一時三十分より

関西同窓会

新宮三校合同関西同窓会総会

新宮中学・新宮高女・新宮高校

本年度予定しております新宮三校合同関西同窓会総会ですが、新型コロナウイルス感染症の流行が未だ収束していない状況を鑑み、誠に勝手ながら開催を中止いたしました。参加を予定して下さっていた会員の皆様には、ご迷惑をおかけ

世話人一同



場所 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 〒101-0073 東京都千代田区九段北 四丁目二二五 TEL 03-3361-9921

「市ヶ谷駅」徒歩1分 JR総武線、地下鉄有楽町線、地下鉄南北線、都営新宿線

連絡先 世話人一同 小久保 泰宏 (090-6924-1803)

第三十二回卒

還暦同窓会

二〇二二年五月に開催を予定しておりました第三十二回卒・還暦同窓会は、開催できないまま二〇二三年を迎えております。

今般の状況を踏まえ事務局一同で検討を重ねた結果、先にはなりますが、六十五歳を迎える二〇二五年五月ごろに開催できればと考えております。

安心して楽しく会える同窓会ができるように、今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

連絡先

第三十一回卒 カンレキ同窓会事務局 shingugi2021@gmail.com

還暦同級会延期のご案内

二〇二三年一月に開催を予定しておりました同級会について、昨年五月に本校舎にて各組幹事で話し合いました。その結果、現下のコロナ禍を踏まえ、「同級会は中止ではなく延期」することとなりました。また、各組毎に名簿を適宜確認し、中間報告会を開くこととなり、

還暦同窓会について

本来なら、二〇二二年に開催する予定の「第三十二回卒・還暦同窓会」ですが昨今の社会情勢により延期しております。

今後、コロナ感染状況等を踏まえながら、安心して楽しめる同窓会が開催できるタイミングでご案内をさせて頂きたいと思ひます。

皆様の元気なお顔に会えることを楽しみに準備を進めてまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願い致します。

連絡先

第三十二回卒同窓会事務局 Mail: rankaku@naraon.ne.jp

新宮第四十一回卒(平成元年卒)

同窓会のお知らせ

二〇二二年一月に予定しておりました第四十一回卒五十歳の同窓会は、コロナ禍の現状が、昨年、今年と開催が厳しい現状にあり延期させて頂いたございました。状況にもよりますが、来年二〇二四年一月には是非開催する様に進めていきたいと考えております。

連絡先

同窓会開催の運びとなりましたら、皆様にご連絡を上げたく、第四十一回卒

新宮高校第三十三回卒(昭和五十六年三月卒)

互いの健康と再会を祈念しました。

なお、ご連絡先に変更のある方は左記までご連絡ください。よろしくお願ひいたします。

連絡先 山縣 弘明 gatchan@apricot.ocn.ne.jp



新宮第四十二回卒(平成二年卒)

同窓会のお知らせ

お知らせ

第四十二回卒の同窓会はコロナ禍の影響で五十歳の節目の年には延期となっておりますが、二〇二四年一月二日ホテル浦島にて開催の運びとなりました。

未だ先行き不透明感がございますが、昨年から名簿作成に取り掛かっており九

第十一回わかやま高校生クイズ in English 優勝

in English 優勝

九月十一日(日)に「第十一回わかやま高校生クイズ in English」(和歌山県教育委員会主催)が和歌山市の和歌山マリナシティで開催され、一年五組小西汰知さん、一年四組藤野遥さん、一年五組川端天人さんの新宮高校チームが見事優勝しました。新宮高校としては初優勝です。

「わかやま高校生クイズ in English」は、英語力を身に付け、広く世界で活躍できる人材を育成することや、英語に対する学習意欲を高めることなどを目的に毎年開催されています。



月頃には皆様に詳細等連絡出来るよう、各クラス幹事中心にライン等で募っている段階です。

同窓生の皆様に開催の連絡が無事に届くようご協力お願いいたします。

写真家 東京芸術大学教授

鈴木理策先生(三十四回卒)による

アウトリーチ授業

七月三十日(土)十時から、新宮高校出身の写真家・鈴木理策先生による本校美術部の生徒を対象としたアウトリーチ授業が開催されました。生徒たちは、事前に「みんなが考える熊野の魅力」と「自分が考える熊野の魅力」という撮影テーマに沿って写真撮影を行い、データを鈴木先生の元に届けていました。午前中は、鈴木先生から写真に関わる講義を受け、午後からは一人ひとりが撮った写真について鈴木先生に講評をいただきました。講義では、人の眼は行動の有用性に合



背丈に合った写真が、将来大事な写真になるよ、とおっしゃった先生の言葉がとても印象に残りました。